

2024年度 社会福祉法人 京都愛心会 特別養護老人ホーム宇治愛の郷 事業計画

1、事業目的

当法人は、運営理念に基づき高齢者福祉に貢献することを目的とし、老人福祉法、介護保険法の遵守に努め、多様な福祉ニーズの変化に迅速かつ柔軟に対応出来るように、創意工夫しながら入所者が個人の尊厳を保持しつつ、施設での生活を通じて、自立した生活を地域社会で営むことが出来るように支援します。入所者一人ひとりの意思及び人格、自己決定を尊重し、施設サービス計画に基づき、入所者がその人らしい生活が継続出来るよう支援をすることを目的とします。

2、基本方針

入所者の安全・安心な生活が送れることを常に考えながら、良質なサービスの提供が出来るように支援します。

また、宇治徳洲会病院との連携を図り、医療面においても入所者・入所者家族が安心出来る施設を目指します。施設の基本である介護力を高めるため以下の項目に取り組みます。

(1) 働きやすい職場づくり

福祉現場の人材確保は非常に厳しい状況にあり、必ずしも専門教育を受けてこられる人材ばかりではありません。働きやすい職場には職員を成長させる「人材育成」と「働きやすい労働環境」作りに取り組んでいく必要があります。職員が向上心をもって業務にあたることのできる、また職員に選ばれる職場づくりに努めます。

ア) 人材定着への取り組み

職員が定着しない要件として、プロの専門職として力が発揮できない労働環境にあると考えています。より高度化した専門性のある業務が展開できるように、その環境を整えていきます。

イ) 人材確保への取り組み

今後の日本の少子高齢化を展望すると、介護未経験者、外国人人材も積極的に受け入れていきます。

ウ) ケアの質の向上

ケアの内容は時代と共に進化しています。昨年度から実施している外部講師を招いての介護技術研修を、今年度も年間を通して行います。また、介護ロボットやICTなどの、新しい知識と技術の導入に向けて取り組んでいきます。

(2) 安定した経営基盤構築

世界情勢の変化により食材料費、エネルギー料金、法定福利費等が高騰して運営にも今以上の不安定要素の拡大が予想されます。また、人件費関係費用の高騰は今後も上昇していきます。

介護報酬改定が行われましたが、今まで以上に費用、経費の使い方を考える為にも職員一人ひとりがコスト意識を熟成するために、わかりやすい経営状況の可視化に努めていきます。